会派視察 • 研修報告書

会派名 市民クラブ

代表者名 若尾敏之

1 目 に ち	令和7年8月4日(月) 10時00分~12時30分
2 視 察 先	研修名:「地域の足」が無くなる?交通空白解消セミナー
研修名、主催者及び会場	主催者:地方議員研究会 会場:リファレンス西新宿大京ビル2階
3 参 加 者	若尾敏之
4 調査研修の	~地域からバス、電車、タクシーが無くなる?
	今地方議員が取り組むべき課題~
テーマ	「交通空白」と地域公共交通の役割 ①
5 主な内容	①地方都市と地域公共交通の現状
	・地方都市の人口と高齢化の現状
	・高齢者の免許保有と免許返納
	・送迎される人は移動には困っていない
	・移動に困っている人の解像度を上げる
	・地域公共交通の負のスパイラル
	・バス運転士不足の実態と支援策
	・公共交通空白地域の拡大
	・徒歩移動の許容距離と時間の違い
	②地域公共交通の定義と役割
	・地域公共交通の定義(地域公共交通活性化・再生法)
	・地域公共交通に求められる役割と価値
	・高校生のバス通学支援(中津川市)
	・通学補助の価値の捉え方
	・通学定期をターゲット(ひたちなか海浜鉄道)
	・観光客の公共交通利用
	・来訪者のための利用案内(京都市)
	・公共交通の確保・維持とまちづくりの関係
	・公共交通の利用と中心市街地の活性化(岐阜市)
	・商店との連携によるにぎわいの創出(松本市)
	・公共交通ネットワークの整備による健康への効果
	・立地適正化計画との連携によるコンパクトプラスネットワーク
	・地域公共交通は誰が維持するのか(地域公共交通活性化・再生法)

- ・地域公共交通はまちづくりの手段
- ・瀬戸市の地域公共交通の概要
- ・菱野団地の概況(人口・高齢化)
- ・高齢化の進行により顕在化した移動の課題
- ・市民ワークショップ (30人)
- ・運行協議会・住民説明会(100人)
- ・住民バスの運行ダイヤと走行ルート
- ・目的に合わせて柔軟なダイヤ・ルート変更
- ・住民バスの運行ダイヤと走行ルート成功との相乗効果
- ・巡る交通による地域活性化
- ・菱野団地再生検討ワークショップ
- ・未来の菱野団地をみんなでつくる会(みんなの会)
- ・多様な課題と目的の共有による合意形成
- ・コミュニティ交通への関わり方
- ・話し合うのに何が必要か
- ・地域公共交通のトリセツ(取組説明書)はじめました
- 「地域で考える移動の仕組み8STEP」書きました

6 所感、提言事項課題等

人口と高齢化の現状をみてみると全体の人口は減少、高齢者の人口は増加している。しかし5万人以下の市町村では高齢者の人口は減少している。 高齢化率上昇の原因は高齢者が増えたからではなく若者の減少が影響していることがわかる。男女別の運転免許の保有率は高齢者になるほど差が大きい。免許の返納数も上がっておらず今後は免許を保有している高齢者が増加する。現在免許を保有している高齢者は男女差があり女性の保有率が低い。今公共交通の行き届かない部分に取り組む必要はあるが今後は免許を保有している高齢者が増加するので公共交通施策も必要だが、今やらなければならない事と10~20年後にやらなければならない事を見据えて取り組む必要がある。

日常生活の中の送迎の負担については移動の問題が家庭内の問題に隠されているという日常で特に考えていなかった問題を提起されました。

送迎負担の男女比は8割女性という。女性が送迎するのは夫・子ども・親であり、自身の仕事にも影響が出ているので、注視すべきと指摘されました。